

第15回

# 人類学関連学会協議会(CARA) 合同シンポジウム

## 性 差

2020年

12月13日  13:00-17:00

オンライン開催

各学会で事前申し込みを行います。申し込みいただいた方には、12月初旬に各学会を通じて、ZoomのURL等をご連絡いたします。

### 趣 旨

「性差」が学問のみならず社会的な課題となって久しい。性差は大きく生物学的、心理的、社会的に区別することができるが、当然のことながらそれぞれは密接に関連している。男女の生物学的な区別と、その社会的・文化的な役割の関係についてはこれまで多くの領域から研究がすすめられ、近年ではトランスジェンダーなど男女という区別に収まらない問題も議論されている。

この「性差」という古くて新しい課題について、それぞれの学会から最新の成果をもちより、それぞれの理解を深め、議論を展開していくことは、人類学関連学会のそれぞれにとっても有意義であるとともに、大きな社会性・現代性を有するものといえるだろう。

合同シンポジウムでは、それぞれの学問領域の方法による研究事例を持ち寄り、その到達点を相互理解することによって、共通点と独自性を探り、さらには今後の「性差」の在り方についても議論を深めていければ幸いである。

主 催

一般社団法人 日本民俗学会

コーディネーター：市川秀之・才津祐美子

# プログラム

- 13:00 開会挨拶 川島秀一（東北大学、日本民俗学会会長）  
趣旨説明 市川秀之（滋賀県立大学、日本民俗学会）
- 13:15－13:40 「とあるチンパンジー集団における生と性」  
伊藤詞子（京都大学、日本霊長類学会）
- 13:40－14:05 「乖離する性行為と生殖—セクシュアルマイノリティによる生殖補助医療技術の利用実態から見た出産・子育て—」  
新ヶ江章友（大阪市立大学、日本文化人類学会）
- 14:05－14:30 「生理人類学は性差とどう向き合っているか」  
村木里志（九州大学、日本生理人類学会）
- 14:30－14:45 休憩
- 14:45－15:10 「性差の民俗—胎児の性別占いと胎児観」  
安井眞奈美（国際日本文化研究センター、日本民俗学会）
- 15:10－15:35 「人骨に現れる性差」  
五十嵐由里子（日本大学、日本人類学会）
- 15:35－15:50 休憩
- 15:50－16:50 総合討論  
司会 才津祐美子（長崎大学、日本民俗学会）
- 16:50－17:00 まとめ・閉会挨拶

お問い合わせ

一般社団法人 日本民俗学会事務局

TEL/FAX: 03-5815-2265

E-mail:folklore@post.nifty.jp